

アボッツフォード記念館への寄付のお願い

皆さんの中にはアボッツフォード記念館を訪れた方がおられるかも知れません。アボッツフォード記念館は19世紀初頭の英文学界を代表する詩人・小説家サー・ウォルター・スコット(1771-1832)が「湯水のように」資金を投じて、しかも6年以上の年月をかけて建てた夢の邸宅で、彼が憧れていた中世のお城のような作りになっています。邸宅そのものや、周囲の庭園や森林も素晴らしいのですが、邸内にはスコットが集めた数多くの珍しい収集品や武器類が所狭しと展示されています。もちろん書庫には膨大な数の皮表紙の本が並んでいます。客間の中央にはスコットが愛用した筆記用具などが展示されていますが、その脇に私どもが翻訳した『スコット伝』の1冊が開かれています。

この邸宅はスコットの直系の子孫が代々維持管理し、スコット記念館として運営していました。ところが私たちにも大変親切にして下さったパトリシアさんと妹さんのジーンさんが数年前に相次いで亡くなられた後、後継者がなかなか見つからなかったため、結局それまで記念館の運営を支えてきた人々からなるアボッツフォード・トラストという財団がその維持管理を担当することになっています。

さて19世紀に建てられた邸宅はあちらこちら補修をする必要が出てきますし、広大な公園のようなアボッツフォードの敷地の手入れにはかなりの費用がかかります。見学者から徴収する入場料だけではこの維持費をまかなうのが困難になったため、このたび多目的ホールやカフェの新築を含む一大改造計画を財団が立ち上げました。そしてそのための援助をスコットランド国内はもとより、全世界的に求めているのです。そこで財団に関係のある日本スコットランド協会にも募金の依頼が来たというわけです。幸いスコットランド政府も全面的に応援する姿勢ですし、「ヒストリック・スコットランド」をはじめ各種の団体からも援助の申し入れがある上に、アボッツフォードをボーダー地方を代表する文化遺産として大々的に売り出そうという動きもあるようです。アボッツフォード記念館に友情溢れるご寄付をお願いしたいと存じます。

募金キャンペーンの担当者ジェイソン・ダイアーさんは寄付をして下さった会員の氏名を財団のホームページ上で紹介するとともに、記念品としてスコット家のタータン模様をつけたネクタイやスカーフを協会に贈りたいと言っています。個人個人が送金するのでは手数料がかかりますので、グラスゴー美術大学の例に倣って、まず協会にご送金いただき、それを協会が一括してアボッツフォード財団に送るという形式をとらせていただきます。ご寄付は一口2000円とし、皆様にはお志に応じて何口かを選んでいただければ幸甚です。ご送金はとりあえず9月一杯といたします。

皆様のお払込先は下記の通りです。

(佐藤 猛郎)

記

ゆうちょ銀行

口座の種類 振替口座 口座名 NPO日本スコットランド協会

口座番号 00190-0-29923

三菱東京UFJ銀行新宿支店

口座の種類 普通預金 口座名 NPO日本スコットランド協会

口座番号 0067203

(恐れ入りますが、手数料をご負担ください)